

# 「戦線統一」のための組合會議」に關する方針

## 〇 關東地方評議會提出

我々が現在當面せる深刻なる反動期に於て、最緊急の重大問題は、大左翼労働組合結成の問題である。大左翼労働組合の樹立なしには、巧妙陰險なる支配階級、並にその支柱たるファッショ、社會ファッショと戦ふことは斷じて出来ない。而して、この大左翼労働組合確立の鍵は、一に我が總評議會が、今後、戦線統一運動を成功的に戦ひ抜き得るか否かにか、つてゐる。

我が關東地方評議會は、労働組合戦線統一の方針に關しては、中央執行委員會と全く同一の見解を有する。しかしながら、中央執行委員會の方針は、我が總評の基本的方針を一般的抽象的に規定したものに過ぎない。我々は、この方針の一步前進と具体化のために、關東地方、——特にそ

の中心をなす東京方面——に於ける労働組合戦線の最近の動向と、戦線統一運動に對する我が關東地方評議會の活動状態を報告し、統一運動に關する我々の具体的方策を全國の同志諸君の前に提出し、嚴正なる批判を仰ぎたいと思ふものである。(關東地方に於ける労働組合運動の動向と戦線統一運動の現勢に關する報告は議案説明の際にゆづる)

〇 (イ)戦線統一のための基本的方針は、工場、職場を基礎とした「下からの統一」である。だが我々は、「下からの統一」と並行して、愛國主義、社會民主主義、無政府主義を指導精神とせざる一切の労働組合の統一を促進する爲に、右翼派の組合會議(労働クラブ並にファッショ派の組合會

議)に對立して、「左翼派の全國的組合會議」を結成する必要がある。この組合會議を結成することによつて、「下からの統一」に拍車をかけ、ファッショ、社會ファッショに對する廣汎なる闘争を敢行することが出来るのだ。

(ロ)右の『左翼派の全國的組合會議』は、戦線統一を目標として結成さるべきである。我々は、當面左の方針に従つて、その實現を計るべきであると考へる。

一、『戦線統一懇談會』——現在、日本交通總聯盟の提唱により、労働クラブ排撃同盟(全國労働の反クラブ派)並に關東労働組合統一協議會系の各組合が参加して作つてゐるもの——を直ちに完全なる全國的組織にまで發展せしめる方針を取ること。

二、そのためには、『關東労働組合統一協議會』を『戦線統一懇談會』の中へ完全に解消せしめて組織を單一化し、且つ、總評議會が全國的に戦線統一懇談會へ参加すること。(現在は關東地方評議會だけが参加してゐる)そして、總評議會の各地方評議會は、各地方に於て——殊に關西並に中部地方に於て——

『戦線統一懇談會』の支部を樹立することに努力すること。

三、戦線統一懇談會を單なる懇談會以上のものたらしめるため、統一懇談會をしてあらゆる日常政治經濟問題を取り上げしめ、参加各組合をして不斷に共同闘争を敢行せしめること。(これによつて、工場、職場に於ける共同闘争を助成し、ファッショ、社會ファッショに對する反クラブ闘争を全國的に統一することが出来る)

四、この『戦線統一懇談會』をして『勞農政治委員會』の労働組合側の本隊たらしめること。

五、戦線統一懇談會をして、加盟各組合の産業別統一を計畫せしめ、即刻準備活動を開始せしめること。

(日常不斷の共同闘争は準備活動の中心をなすものであるが、そのほかにも、機關新聞によるアジプロ全國各地の工場、職場に於ける協議、懇談、中央事務局に於ける詳細なる調査研究等々が必要である)

六、かくして戦線統一懇談會を、やがて約十萬の大衆